

2025年3月29日

人権ネットワーク八幡 NEWS

事務局 〒523-0857 近江八幡市八幡町170(旧八幡教育集会所内)
電話 【携帯】 080-2525-7114(高坂)
【メール】 Tko.koj1224@yahoo.co.jp

京都教区 部落解放・若者広場「八幡町現地研修」(前編)

2025年3月7日 備忘録 鳥井新平

近江金田教会に午後1時集合2時まで 鳥井がガイダンス

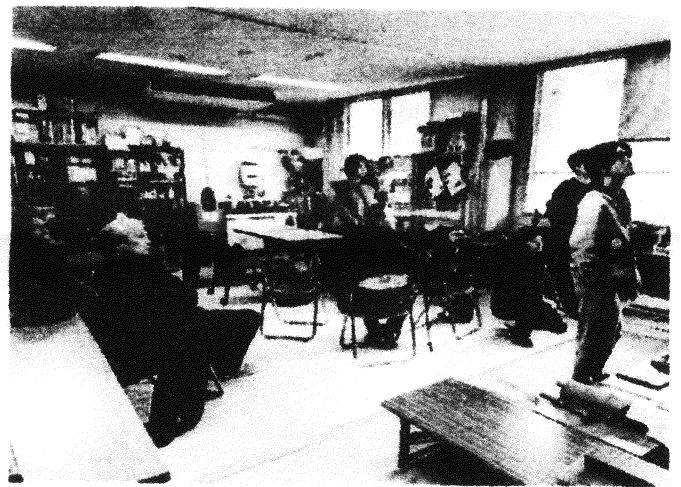
神学部から、大阿久さん、セネックはなさん、太陽くん、政策学部から麟太郎さん、社会学部から響さん参加

鳥井のガイダンスは・・・部落差別とは、法律の流れ、八幡町について、八幡町と近江金田教会の岡林信康について。同席した横田さんが近江金田教会の紹介と狭山事件について説明をしてくれる。私の狙いはここでガイダンスを済ませたら、現地で説明を一方的に聞くというより、学生の質問を軸として研修を展開していこうというもの。

横田さんがワンボックスカーで一同を八幡町の教育集会所まで運んでくださる。学生からどんどん出る質問。

- ・2軒かくっついている住宅はなぜですか？
- ・結婚差別についてどうなっていますか？
- ・八幡町の起源はいつですか？
- ・水平社宣言の文言が男性中心になっているわけは？
- ・地名総論と糾弾について教えてください
- ・「解放区」とはどういう状態をいうのでしょうか？
- ・地域のお風呂屋さん、教育集会所の変遷と役割
- ・地域から声を上げることと市会議員を出すこととは？
- ・岡林信康とは？
- ・その他 いろいろ

八幡教育集会所では8人の人権ネットワーク八幡の方が対応してくださった。感謝しかない。



次に向かったのは徒歩2分のところにある願通寺。ご住職の仲尾萌さんがお話をくださった。

(後編に続く)

先日、鳥居新平さんと同志社大学の学生さんたちが、我が集会所に研修にやって来た。事前に金田教会で八幡町に関する歴史的概要などを聞かれてきたとか…。

まず自己紹介が始まり、続いて自由に質問が出されていった。その中で、私が答える事になったのは「差別がなくなった状態(状況)とは?」という根源的な質問であった。この「問い」は常々、考え続けてきたが、いざ答えるとなると、なかなか難しいのである。

私は、教員時代に語っていた「部落と周辺地域との格差などが解消された状況」や自分の生まれた地域をためらいなく話せる世の中になった時かなあと、しどろもどろに学生さんの質問に答えていた。

ところで、私が好きな曲の一つに、キダタロー唯一の歌謡ヒット『ふるさとの話をしよう』(歌・北原謙二)がある。

♪ ～ 君の知らない 僕のふるさと ふるさとの話をしよう ～ ♪

知らない人は一度聴いてみてほしい。この曲こそが「差別がなくなった」世の中と違うかなあ。

(TK)

石川一雄さん急逝! …ショック。



3月12日(水)の夜、ケータイのメールが鳴った。何かと思ってみると「石川一雄さんが、昨夜亡くなられた…」と。

突然の事で返事のしようがない、一言「ショック」と書いた。正月の解放新聞・中央版に元気な石川夫妻の写真と力強いメッセージが載っていたのに…。

石川一雄さん・早智子さんとは9年前に八幡の女性集会に来られた時、直接会っていろいろな話をした。事前には狭山茶やDVDを送ってもらっていた。

無罪を勝ち取ることなく逝かれた石川一雄さん、ほんまにくやしいなあ。何としても、狭山事件の再審裁判を開かせなあかん。

(TK)

『石川さんは、生きています。部落差別を憎み、正義を愛する人々の心に石川さんは生きています。石川さんの無実を勝ち取るまで頑張って運動を続けたい』

近江平安教会・谷本一広さん(滋賀同宗連創設メンバー)

*3月25日(火)15:00、日本基督教団大津教会で「石川一雄さん緊急追悼集会」が開催予定です。

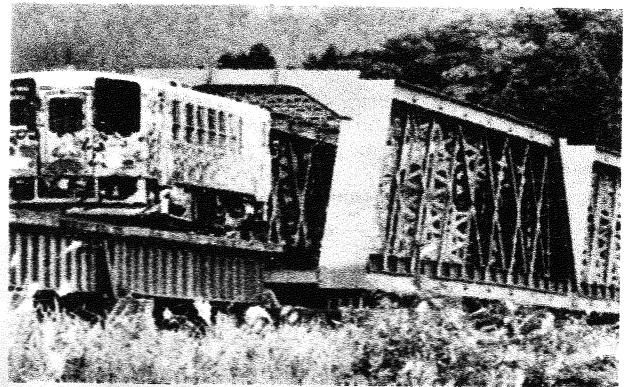
水来亭平助の旅鉄日記 ②

2年ぶりの鉄旅日記です。今回は山形県を走る「山形鉄道フラワー長井線」に乗って来ました。同線はかつての国鉄長井線。赤字ローカル線として廃止される処を第三セクター山形鉄道フラワー長井線として1988年に誕生しました。米沢の少し北、南陽市の温泉地にある赤湯駅から西へ米坂線を追うように走り、今泉駅から最上川に沿って北に向かい、終点の荒砥駅までの約30km。1時間かけてカラフルな1～2両のディーゼルカーがコトコトと1時間に1本、1日12往復しています。

山形ののどかな農村地帯を走る同線ですが、周辺には花農家が多く、「フラワー長井線」の語源になったとか。収穫の終わったぶどう園・梨園と収穫待ちのりんご園・柿園が交互に見られ、飽きない沿線風景でした。途中一カ所、収穫の終わった田圃に白い物がゴロゴロしている光景があり、よく見れば休んでいる白鳥達でした。聞けば最上川河口に日本有数の白鳥飛来地があり、この時期、エサを求めてよく流れて来るそうです。

フラワー長井線沿線には高校が多く、夕方の便に乗ったこともあって往復共に列車は学校帰りの高校生で一杯でした。再び各地でローカル線の存廃問題が起きていますが、経済効率や収支の採算だけでなく、「こども達の学習権の保障としての鉄道」を考えていかないといけないかなと思いました。

終点荒砥駅の手前の最上川には古い有名な鉄橋が架かっています。同じ車輛で行って帰るだけの「乗り鉄旅」でしたが、色々な景色に出会えて楽しい2時間の旅でした。



＜山形鉄道の画像から＞